

2024年5月13日

関東鉄道株式会社

## 代表取締役社長交代の内定に関するお知らせ

関東鉄道株式会社（本社：茨城県土浦市、社長：松上 英一郎）は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、代表取締役社長交代を内定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は2024年6月25日開催予定の第153期定時株主総会及び同株主総会終了後の取締役会において正式に決定される予定です。

### 1. 代表取締役の異動（異動予定日：2024年6月25日）

氏名	（新）	（現）
松上 英一郎	代表取締役会長	代表取締役社長
登嶋 進	代表取締役社長	代表取締役副社長

### 2. 背景

現代表取締役社長・松上英一郎は、2015年6月に当社取締役副社長に就任し、2017年6月から現職を務めております。この在任期間中、2015年9月に発生した関東・東北豪雨による水害や2020年～2023年にかけての新型コロナウイルス禍など、厳しい経営環境の中、2030年までの長期経営計画「関鉄ビジョン2030」、2022年～2024年の中期経営計画「Start Up Plan」の策定など、各種経営施策を主導し、「関鉄ビジョン2030」に掲げた「茨城県を中心とした首都圏における交通・生活産業のリーディングカンパニーとしての成長」に向けた取り組みを進めてまいりました。また、2017年6月から2022年6月にわたり茨城県バス協会長を務め、2019年の「いきいき茨城ゆめ国体」関係者輸送を主導したほか、コロナ禍に伴う茨城県及び自治体の支援金に関し、茨城県内バス事業者の交付に尽力いたしました。

新たに代表取締役社長に就任する登嶋進は、2022年6月に当社代表取締役副社長に就任後、当社グループの将来を見据え、グループ各社の事業再編に取り組んだほか、人事制度改革や内部統制・コンプライアンス体制の強化を推進するなど、当社グループの安定した事業基盤の確立に貢献し、松上とともに当社グループ全体の事業責任を担っております。

当社を取り巻く事業環境は、バス運転士不足の慢性化など、引き続き厳しい環境下におかれておりますが、松上が9年間にわたり築いた基盤をもとに、今後は登嶋の力強いリーダーシップのもと、引き続き「関鉄ビジョン2030」の達成に向けて、各事業の持続的な成長を目指すとともに、「地域のふれあいパートナー」として、地域社会の発展への貢献に努めてまいります。

### 3. 略歴

氏名（生年月日）	略歴
松上 英一郎 (1962年2月23日生)	2011年6月 京成電鉄株式会社取締役総務人事部長 2013年6月 同社常務取締役鉄道副本部長 2015年6月 当社取締役副社長 2015年6月 京成電鉄株式会社常務取締役 経理担当 2016年6月 同社常務取締役 総務人事担当 2017年6月 一般社団法人茨城県バス協会会長 2017年6月 当社代表取締役社長 現在に至る 2022年6月 一般社団法人茨城県バス協会副会長 現在に至る 重要な兼職の状況 一般社団法人茨城県バス協会副会長

氏名（生年月日）	略歴
登嶋 進 （1967年7月13日生）	2016年6月 京成電鉄株式会社取締役総務人事部長 2017年6月 同社取締役 2018年6月 京成不動産株式会社代表取締役社長 2019年6月 京成電鉄株式会社常務取締役 2021年10月 同社取締役常務執行役員開発本部長 2022年6月 当社代表取締役副社長 現在に至る 常総産業株式会社代表取締役社長 現在に至る 重要な兼職の状況 常総産業株式会社代表取締役社長

#### 4. 当社の主な取り組み

##### 2017年度

- ・一般路線バス全エリアで交通系ICカードシステム「PASMO」の導入
- ・高速バス「水戸・赤塚・石岡～TDR線」の運行開始
- ・一般路線バス全車両のバリアフリー化

##### 2018年度

- ・ドライバー異常時対応システム（EDSS）を装備した高速バスを茨城県内初導入
- ・地震や水害等を想定したBCPの策定

##### 2019年度

- ・2階建て高速バスの導入
- ・国土交通省の新モビリティサービス推進事業「つくばスマートシティ協議会」に参画
- ・「いきいき茨城ゆめ国体」に協賛・関連輸送の実施

##### 2020年度

- ・コロナ禍を受けた緊急経営改善計画の策定
- ・土浦市におけるMa a S事業の開始
- ・つくばみらい市コミュニティバスに茨城県内初となるEVバスを導入

##### 2021年度

- ・高速バス「境町～東京駅線」の運行開始
- ・龍ヶ崎市におけるMa a S事業の開始
- ・制服を29年ぶりにリニューアル（抗菌加工素材、ジェンダーレスデザイン）

##### 2022年度

- ・創立100周年記念事業の展開
- ・当社グループ4社の一般路線バスにおけるIC金額定期券の導入

##### 2023年度

- ・かすみがうら市、下妻市、常総市にMa a S事業を拡大
- ・大型EV路線バスの導入開始
- ・茨城県警察と合同で、交通安全「反射材」を沿線の小学生に贈呈
- ・当社グループ各社の事業再編（常総産業株式会社・株式会社関鉄クリエイトの合併、関鉄観光バス株式会社・関鉄観光株式会社の合併）

##### 2024年度

- ・常総市コミュニティバス「JOYBUS」運行開始
- ・茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校との連携協定締結

以 上